

## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：前佛 和秀

事業名	一般国道52号 <small>かみいしだかいりょう</small> 上石田改良	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自： <small>やまなしけん こう ふ し とみたけ</small> 山梨県甲府市富竹一丁目 至： <small>やまなしけん こう ふ し ことぶきちやう</small> 山梨県甲府市寿町	延長	1.0km		
事業概要					
<p>国道52号は、静岡県静岡市から山梨県甲府市に至る幹線道路である。上石田改良は、甲府市内を流れる荒川や貢川に架かる橋の架け替えや4車線化による交通円滑化、拡幅・線形改良と歩道設置による交通安全性の向上、沿道環境の改善を目的とした、甲府市富竹一丁目から甲府市寿町までの延長1.0kmの4車線の拡幅事業である。</p>					
H8年度事業化	S21年度都市計画決定 (S43年度変更)	H16年度用地着手	H17年度工事着手		
全体事業費	約138億円	事業進捗率 (令和2年3月末時点)	93%	供用済延長	0.75km
計画交通量	23,100~25,600台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.1  (残事業) 21.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 8.9/212億円 〔事業費：7.0/203億円 維持管理費：1.9/8.5億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 188/223億円 〔走行時間短縮便益：162/197億円 走行費用減少便益：20/21億円 交通事故減少便益：5.1/4.0億円〕	基準年	令和2年
感度分析の結果					
<p>【事業全体】交通量：B/C=1.1~1.1（交通量 ±10%）【残事業】交通量：B/C=20.8~23.7（交通量 ±10%）          事業費：B/C=1.05~1.1（事業費 ±10%） 事業費：B/C=19.5~22.8（事業費 ±10%）          事業期間：B/C=1.00~1.1（事業期間 ±20%） 事業期間：B/C=20.3~21.4（事業期間 ±20%）</p>					
事業の効果等					
<p>①交通渋滞の緩和および交通安全性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上石田改良と並行する国道52号現道は、貢川交差点や貢川交番前交差点、貢川橋西詰交差点などが主要渋滞箇所として特定しており、速度低下が著しい状況である。</li> <li>事故類型は車両相互の追突事故が多く、全体の約5割。</li> <li>上石田改良の整備により、走行性の悪い現道から交通が転換し、交通混雑の解消、交通事故の減少が見込まれる。</li> </ul> <p>②沿道環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2工区は平成26年4月21日の4車線開通により、現道の交通量が4車線化区間に1,400台/日転換しており、1工区でも同様の転換が見込まれる。</li> <li>歩行空間が狭小な現道から、十分な歩行空間が確保された上石田改良に転換することで、道路利用者のうち約9割が安心感の向上を実感。</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>・山梨県知事の意見：</p> <p>一般国道52号は、甲府都市圏の重要な幹線道路に位置付けられており、上石田改良の整備については、交通混雑の緩和、安全性の向上、沿線環境の改善などが期待されることから、非常に必要性が高い事業である。</p> <p>このうち2工区（荒川橋から甲府南アルプス線（通称アルプス通り））までは、4車線開通により、渋滞緩和や歩行空間確保など一定の成果が得られている。</p> <p>しかし、残区間の未整備によりアルプス通りにて、国道52号（現道）と2工区の交差点が近接するため、クランク交通や直進交通などが輻輳状態にある。</p> <p>このため、事業効果を最大限に発揮すべく、引き続き、残区間の早期完成に努めていただきたい。</p>					
事業評価監視委員会の意見					
事業の継続を承認する。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
隣接する国道52号寿町拡幅が平成16年度に完了。					

